

2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月14日
東

上場会社名 NITTOKU株式会社 上場取引所
コード番号 6145 URL <https://nittoku.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笹澤 純人
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 藤田 由実子 (TEL) 048-615-2109
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	21,551	11.4	506	△74.6	618	△70.8	822	△39.1
2024年3月期第3四半期	19,338	△9.8	1,991	0.9	2,115	0.7	1,349	△6.4

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 241百万円(△88.3%) 2024年3月期第3四半期 2,072百万円(47.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	45.85	—
2024年3月期第3四半期	74.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	59,054	37,767	63.5
2024年3月期	56,785	39,770	69.4

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 37,514百万円 2024年3月期 39,420百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
2025年3月期	—	21.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	10.4	1,900	△54.4	1,900	△55.6	1,500	△45.3	88.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
 株式会社アステクノス
 新規 3社(社名) API Hard- & Software GmbH 、除外 1社(社名)
 ASTECNOS AMERICA CORPORATION

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	18,098,923株	2024年3月期	18,098,923株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	848,741株	2024年3月期	32,575株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	17,938,522株	2024年3月期3Q	18,066,511株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 資本コストや株価を意識した経営の実現と中期経営計画の公表予定	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(収益認識関係)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2024年4月1日～2024年12月31日)における世界経済の情勢は、緩やかな成長基調が継続する中、欧州や中国経済の減速、ウクライナや中東情勢等の地政学的リスク、米国大統領選挙に伴う財政、金融市場への影響、資源・エネルギー価格の動向等、引き続き不確実性が高い状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く環境においては、緩和的な金融環境が下支えとなる中、人手不足対応やデジタル関連の投資、成長分野・脱炭素化関連の研究開発投資、サプライチェーンの強靱化に向けた投資、自動車産業における電装化、安全化のための設備投資等をはじめ、製造生産システムの自動化、効率化、高品質化ニーズ等により設備投資は緩やかな増加傾向となりました。

当社グループは、ユーザーの生産システム全体のデザイン・構築に技術・アイデアを提供し、また生産工程全体の効率化や品質向上にも貢献する「ラインビルダー」として、ユーザーごとの固有のニーズやウォンツを実現する一貫生産ラインの提供に努めております。こうした客先専用機に加えて、業界標準機の開発・販売も注力しており、2024年12月に国内で開催された半導体業界の展示会では、半導体関連の業界標準機が好評を博し多数の引き合いを獲得するなど、技術力と収益性を両立するための体質改善を進めております。また、採用したい人材が集まる場所にテクニカルセンターを開設するなど、即戦力となる人材の確保を目的とした「サテライト戦略」により、ニッチな業界における優れた即戦力人材の確保を推進しております。

近年は、SDGs対応やESG経営が求められるようになったことから、当社グループは省資源・省材料・省電力等を実現する生産システムの提供や、関連会社のIMD社においてモータ廃棄量の削減を可能にする絶縁媒体レスモータの研究、また当社においてその生産システムの研究に努めており、地球環境保全や国際社会への貢献にも努めております。

当社グループは、モビリティ業界を中心とした新たな技術革新に伴うユーザーの新規製品の自動化案件に対して、ユーザーと共に先端設備の開発を行っており、また従来よりも生産設備の規模が大型化し、納期も長期化しております。当第3四半期連結累計期間においては、新規開発要素(ユーザー開発製品の進化・変化)を含む案件の割合が多く、ユーザーの要求に応じた追加の仕様変更への対応や品質調整に時間を要したほか、検収条件達成のための追加コストや納品後の再改造対応が必要になる等、納期の長期化やコストを要する事象が複数発生いたしました。当第3四半期(3ヵ月間)においては新規開発要素を含む案件等の粗利率の改善が見られたものの、当第3四半期連結累計期間においては、欧州モビリティ業界の景気低迷に伴う欧州子会社の業績悪化をはじめとする海外子会社の業績不振等が要因となり、利益は前年同期を大幅に下回る結果となりました。なお、上期の低収益案件については、既にリピート受注を獲得している案件もあり、今後の収益拡大に寄与いたします。

以上の状況下、当社個別ベースでの受注高は前年同期に対し5.8%増加し、177億32百万円となりました。また個別売上高は前年同期に対し9.2%減の127億21百万円となり、個別受注残高は前年同期に対し2.2%増の241億85百万円となりました。

また、当社グループにおける連結売上高は215億51百万円(前年同期比11.4%増)、営業利益は5億6百万円(前年同期比74.6%減)、経常利益は6億18百万円(前年同期比70.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億22百万円(前年同期比39.1%減)となりました。

このような経営環境下において当社の各セグメントの業績は次のとおりであります。

(ワインディングシステム&メカトロニクス事業)

当社グループは、搬送システム上に巻線・ハンドリング・組立・検査等の工程を搭載する技術をベースにし、独自開発のOSにより高機能多軸同期制御が可能な生産システムによるさまざまな生産ライン構築を提供することで、世界市場におけるユーザーの競争優位性の向上に資するビジネスモデルを追求しております。ユーザーごとに創出される固有のニーズやウォンツにスピーディーに対応し、ニッチな分野でのオープンイノベーションによるユーザー・サプライヤーとの協業・協創を推進する「ブラックオーシャン戦略」をグローバルに推進することによって、競合他社の参入障壁を高め、競争力及びマーケットプレゼンスの更なる向上に努めております。この成果として、半導体業界向けの高精度ダイボンダーやハンドラー、電池業界向けの捲回機等、巻線工程を含まないメカトロニクス事業の領域が広がっております。

昨今の急速なデジタル化の進展によるデバイスやツール等の高性能化に伴い、当事業においては、当社グループは従来の「生産設備メーカー」から、ユーザーの生産システム全体の設計・構築に技術・アイデアを提供し、工程全体の生産効率化や品質向上に貢献する「ラインビルダー」へと変化を遂げております。

前述の通り、当第3四半期（3ヵ月間）においては新規開発要素を含む案件等の粗利率の改善が見られたものの、当第3四半期連結累計期間においては、新規開発に伴う納期の長期化やコストを要する事象が複数発生したこと、海外子会社の業績不振等により、利益は前年同期を大幅に下回る結果となりました。

これらの結果、全売上高の約94%を占めるワインディングシステム&メカトロニクス事業におきましては、連結売上高は201億96百万円（前年同期比16.3%増）、セグメント利益（営業利益）は9億77百万円（前年同期比52.9%減）となりました。

なお、当社個別ベースでの受注高は162億66百万円（前年同期比6.8%増）、売上高（生産高）は113億53百万円（前年同期比5.6%減）、当第3四半期末の受注残高は234億93百万円（前年同期比1.6%増）となりました。

（非接触ICタグ・カード事業）

当第3四半期連結累計期間においては、非接触ICカードの売上高は前年同期比10.3%減、生産ライン管理用のFAタグや電池タグ等、タグの合計売上高は、ユーザーサイドが半導体不足時に先行手配していたタグの在庫調整の影響等により、前年同期比75.6%減となりました。

これらの結果、連結売上高は13億55百万円（前年同期比31.3%減）、セグメント利益（営業利益）は3億45百万円（前年同期比49.3%減）となりました。

なお、当社個別ベースでの受注高は14億65百万円（前年同期比4.2%減）、売上高（生産高）は13億67百万円（前年同期比30.7%減）、当第3四半期末の受注残高は6億91百万円（前年同期比31.0%増）となりました。

（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

①資産

流動資産は前連結会計年度末対比4億12百万円増加し、396億6百万円となりました。これは主として、現金及び預金が28億82百万円、受取手形及び売掛金が14億52百万円減少したものの、仕掛品が47億74百万円増加したことによります。

固定資産は前連結会計年度末対比18億55百万円増加し、194億47百万円となりました。これは主として、投資有価証券が14億7百万円減少したものの、建物及び構築物（純額）が13億47百万円、土地が10億87百万円、のれんが2億24百万円、機械装置及び運搬具（純額）が2億41百万円増加したことによります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末対比22億68百万円増加し、590億54百万円となりました。

②負債

流動負債は前連結会計年度末対比29億83百万円増加し、165億6百万円となりました。これは主として、契約負債が16億6百万円、1年内返済予定の長期借入金が9億8百万円増加したことによります。

固定負債は前連結会計年度末対比12億88百万円増加し、47億79百万円となりました。これは主として、長期借入金が14億25百万円増加したことによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末対比42億71百万円増加し、212億86百万円となりました。

③純資産

純資産合計は、前連結会計年度末対比20億3百万円減少し、377億67百万円となりました。これは主として、自己株式が15億14百万円増加したことによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の数値は、今後のさまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想については本日（2025年2月14日）公表をいたしました「2025年3月期 業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(4) 資本コストや株価を意識した経営の実現と中期経営計画の公表予定

当社グループは、2024年4月17日付の社長交代に伴い、新たな経営体制に移行し、成長を加速させるため、資本コストや株価を意識した経営を2025年3月期より導入いたしました。今後も、当社グループは、ROIC、EBITDA等の定量目標を掲げ、優秀人材の確保・育成やM&Aを含む生産能力・収益力の増強に取り組み、資本収益力の向上を図ってまいります。併せて、資本政策についても見直しを行い、事業成長のみならず、資本コストや株価を意識した経営の実現に取り組んでまいります。

また、2025年3月期末の決算発表時には、今後5ヵ年の成長戦略の道筋を示す中期経営計画（2026年3月期～2030年3月期）の公表を予定しており、事業分野・事業部門別の経営戦略の策定、経営基盤の強化、売上・シェア向上、収益性向上、企業価値向上に向けた財務・資本政策の実行に努めるとともに、これらを通じて更なる株主価値向上を図ってまいります。投資家及び株主との対話を重視する観点から、当該中期計画の詳細につきましては、IR説明会や個別ミーティングを通じてご説明を行い、投資家や株主の皆様との一層の価値共有に努めてまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,028	12,146
受取手形及び売掛金	6,910	5,458
電子記録債権	2,514	1,393
有価証券	301	235
仕掛品	11,094	15,868
原材料及び貯蔵品	2,702	2,558
その他	713	2,018
貸倒引当金	△72	△73
流動資産合計	39,193	39,606
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,132	6,480
機械装置及び運搬具（純額）	1,039	1,281
土地	2,811	3,898
その他（純額）	700	620
有形固定資産合計	9,683	12,280
無形固定資産		
のれん	—	224
その他	181	222
無形固定資産合計	181	447
投資その他の資産		
投資有価証券	4,991	3,584
退職給付に係る資産	681	697
繰延税金資産	46	173
その他	2,006	2,265
投資その他の資産合計	7,726	6,720
固定資産合計	17,591	19,447
資産合計	56,785	59,054

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,913	2,547
電子記録債務	2,105	3,002
未払法人税等	1,201	110
契約負債	5,450	7,056
賞与引当金	722	399
1年内返済予定の長期借入金	399	1,308
その他	1,730	2,082
流動負債合計	13,523	16,506
固定負債		
長期借入金	1,584	3,009
退職給付に係る負債	1	5
繰延税金負債	1,186	1,231
その他	719	533
固定負債合計	3,491	4,779
負債合計	17,014	21,286
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,884	6,884
資本剰余金	2,528	2,562
利益剰余金	24,722	24,858
自己株式	△29	△1,543
株主資本合計	34,106	32,761
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,178	1,498
為替換算調整勘定	2,846	3,042
退職給付に係る調整累計額	289	211
その他の包括利益累計額合計	5,314	4,752
非支配株主持分	349	253
純資産合計	39,770	37,767
負債純資産合計	56,785	59,054

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	19,338	21,551
売上原価	13,088	16,054
売上総利益	6,250	5,497
販売費及び一般管理費	4,258	4,991
営業利益	1,991	506
営業外収益		
受取利息	64	48
受取配当金	61	54
その他	90	136
営業外収益合計	216	239
営業外費用		
支払利息	25	44
社葬関連費用	—	40
その他	67	41
営業外費用合計	92	126
経常利益	2,115	618
特別利益		
投資有価証券売却益	—	428
ゴルフ会員権売却益	—	56
特別利益合計	—	485
税金等調整前四半期純利益	2,115	1,103
法人税、住民税及び事業税	695	286
法人税等調整額	73	4
法人税等合計	769	291
四半期純利益	1,345	812
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	△10
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,349	822

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,345	812
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	350	△679
為替換算調整勘定	453	187
退職給付に係る調整額	△76	△78
その他の包括利益合計	727	△570
四半期包括利益	2,072	241
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,060	260
非支配株主に係る四半期包括利益	11	△19

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

改正された「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下、「2022年改正会計基準」という。)、
「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)及び「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

従来、所得等に対する法人税、住民税及び事業税等(以下、「法人税等」という。)について、法令に従い算定した額を損益に計上することとしておりましたが、所得に対する法人税等について、その発生源となる取引等に応じて、損益、株主資本及びその他の包括利益に区分して計上することとし、その他の包括利益に計上された法人税等については、当該法人税等が課される原因となる取引等が損益に計上された時点で、これに対応する税額を損益に計上することとしました。なお、課税の対象となった取引等が、損益に加えて、株主資本又はその他の包括利益に関連しており、かつ、株主資本又はその他の包括利益に対して課された法人税等の金額を算定することが困難である場合には、当該税額を損益に計上しております。

法人税等の計上区分に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項但し書きに定める経過的な取扱いに従っております。

なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	ワインディングシステム &メカトロニクス事業	非接触ICタグ・カード 事業	
売上高			
外部顧客への売上高	17,365	1,973	19,338
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	17,365	1,973	19,338
セグメント利益	2,074	681	2,755

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,755
全社費用(注)	△763
四半期連結損益計算書の営業利益	1,991

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	ワイディングシステム &メカトロニクス事業	非接触ICタグ・カード 事業	
売上高			
外部顧客への売上高	20,196	1,355	21,551
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	20,196	1,355	21,551
セグメント利益	977	345	1,322

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,322
全社費用(注)	△816
四半期連結損益計算書の営業利益	506

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	622 百万円	853 百万円
のれんの償却額	— 百万円	39 百万円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	ワインディングシステム &メカトロニクス事業	非接触ICタグ・カード 事業	
日本	7,600	1,973	9,574
中国	2,761	—	2,761
韓国	643	—	643
アジア	1,932	—	1,932
北中南米	1,526	—	1,526
ヨーロッパ	2,900	—	2,900
顧客との契約から生じる収益	17,365	1,973	19,338
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	17,365	1,973	19,338

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類をしております。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	ワインディングシステム &メカトロニクス事業	非接触ICタグ・カード 事業	
日本	7,940	1,355	9,295
中国	3,504	—	3,504
アジア	2,873	—	2,873
北中南米	1,777	—	1,777
ヨーロッパ	4,100	—	4,100
顧客との契約から生じる収益	20,196	1,355	21,551
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	20,196	1,355	21,551

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類をしております。